

製品名: ITGA5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80787**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	114kDa

抗原情報

遺伝子名	ITGA5
別名	FNRA; CD49e; VLA5A; ITGA5
遺伝子 ID	3678.0
SwissProt ID	P08648
免疫原	大腸菌で発現したヒト ITGA5 の精製された組み換え断片。

背景

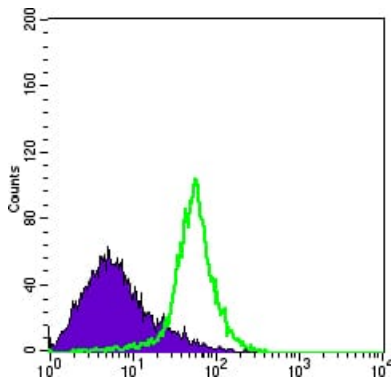
この遺伝子産物はインテグリン α鎖ファミリーに属します。インテグリンは、α鎖とβ鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質です。この遺伝子はインテグリン α5鎖をコードしています。α鎖5は細胞外ドメインで翻訳後切断を受けてジスルフィド結合した軽

鎖と重鎖を生じ、これらが $\beta 1$ と結合してフィブロネクチン受容体を形成します。インテグリンは接着に加え、細胞表面を介したシグナル伝達にも関与することが知られています。インテグリン $\alpha 5$ はヘテロ二量体で、CD29/インテグリン $\beta 1$ サブユニットと非共有結合して $\alpha 5$ - $\beta 1$ 超後期抗原 (VLA-5) 複合体を形成します。VLA-5 は、胸腺細胞、T 細胞、単球、血小板に発現するフィブロネクチン受容体です。また、極初期 B 細胞や活性化 B 細胞にも見られます。VLA-5 を介したフィブロネクチンへの結合は、T 細胞に共刺激シグナルを送り、Fc γ R および補体受容体を介した貪食を促進します。また、単球の細胞外組織への遊走にも関与しています。

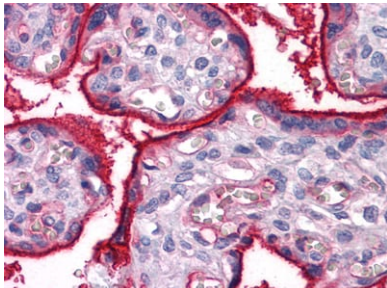
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

画像データ



ITGA5 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



ITGA5 マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学分析